SiNAPIS ニュース

社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

No.67 2021. 12

“すべてのいのちを守ろう”

― 誰も置き去りにしない世界に向けて　No one will be left behind ―

2021 年正義と平和大阪大会テーマ

バカなことを言うな

カトリック大阪大司教区　社会活動センター　シナピス

地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、
やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

TEL　06-6942-1784　FAX　06-6920-2203　E-mail　sinapis@osaka.catholic.jp

巻頭言

「平和の王がやって来る」

カトリック園田教会
司祭　山口　武史

デパートで、まだ世には知られてはいませんが、たまに有望な画家の展示即売会をしています。数年前に、通りかかりに見てみますと、動物の絵が展示されていました。ライオンやヒョウなどの肉食と、鹿やキリンなどの草食の動物が仲良く集まっている絵が多いのが特徴でした。その絵の作者はアフリカから来た人でした。「大自然の中で、おおらかに育ちはったのやな」と思いましたが、違いました。この画家の故郷は、民族対立か資源の取り合いか、理由は分かりませんが、激しい内乱があり、血で血を洗うような有様だったらしく、それに心を痛めて、草食と肉食動物が仲良く一緒にいるように、故郷もそうなればと願い、そのような絵を描いたそうです。

祈りにも似た、平和への願いが込められた絵であることが分かり、感動しました。同時に旧約聖書イザヤ書 11 章 1 ～10 節を思い出しました。題は「平和の王」で、ダビデのような立派な王が再び来るという預言で、6 節以降に「狼は小羊と共に宿り、豹は子山羊と共に伏す……乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ、幼子は蝮の巣に手を入れる。わたしの聖なる山においては、何ものも害を加えず、滅ぼすこともない」と述べています。私の持っている解説書は、ユダヤが、エジプトとアッシリアの大国の圧力に苦しんでいた時代に書かれたもので、この当時は共に生きるなんて到底考えられなくても、第二のダビデ王がやって来ることによって、平和が与えられるであろうという神への信頼を表していると書かれていました。でも、私たちの個人や世界の現実を顧みると、絵空事のように聞こえます。

ある共産主義国では「バカなことを言うな」という時「クリスチャンみたいなことを言うな！」と言うようです。今はバカなことかもしれませんが、それでも信じて待つことが、クリスマスを迎える私たちの回心かもしれません。

今月のページ

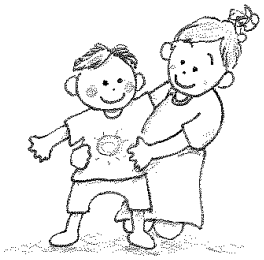
■ ニュースレター 目次 ■

1　巻頭言
2　子どもたちに伝えたい平和
3　障がい者委員会より
4　助けてください　その後
5　ホームだより
7　教えてください～！！第 20 弾！
9　掲示板
11 あとがき

■ チラシ・ご案内 ■

- シナピスの風
- 12 月の祈り
- 忘れないあきらめないカレンダー
- 第５回「貧しい人のための世界祈願日」教皇メッセージ
- クリスマスカタログ最終
- 飯盛山麓　クリスマス フェスタ
- 死刑執行停止を求める諸宗教による祈りの集い 2021 ライブ配信
- 憲法改悪を許さない全国署名
- ミャンマー：クーデターから 10 ヵ月 日本政府は国軍との経済的関係をたちきってください

子どもたちに伝えたい平和



焼き芋と「ビッグイシュー」

堺教会　全泓奎（じょんほんぎゅ）

気温が下がり寒さが増してきました。冬になると思い出す風景があります。今から 24~5 年前、私は当時再開発事業が進んでいたソウル市内のスラム地域にいました。そこは経済的には貧しくても、家族や隣近所の人びとが仲良く暮らす居住の場でもありました。しかしある時、スラムを撤去してマンションを建てる再開発計画が持ち上がったのです。土地や家屋の持ち主が中心となり、間借りをしていた住民を追い出す形で計画が進められていきました。当時大学生だった私は、人びとの権利が認められないまま追い出されるのは許せないという思いで地域に入り、住民と共に暮らし始めました。その時、経済的に困窮していた住民のお兄さんと始めたのが焼き芋の販売でした。思っていた以上によく売れて、「ああ、こういうことで生活の立て直しができるんだ」と喜んだのを記憶しています。

その後 10 年ほどが過ぎ、名古屋で同じような経験をすることがありました。1999 年に留学生として来日し、東京で大学院を修了した後、就職で名古屋に移った頃の話です。東京でホームレスの人びとへの炊き出しや夜回り等にかかわっていた時に知った活動に「ビッグイシュー」というのがありました。これは本当に画期的な取り組みで、ホームレスの人々が路上で「ビッグイシュー」という雑誌を売り、その売り上げの一部を稼ぎとする仕組みです。それまではホームレスの人びとへの支援といったら、それこそ炊き出しや夜回りぐらいしかありませんでした。しかし先に述べた焼き芋販売のように、「ビッグイシュー」ではホームレスの人びとが仕事を通して社会に再参加できるよう支援することが中心理念に掲げられていました。元々はイギリスから始まった活動だそうですが、この活動に共感した人が大阪で始め、今は日本中に広がっています。そして多くの人が支援を受け、路上から畳に上がり、自分で生活をするという自由を手にすることができました。私は名古屋で炊き出しや夜回り等の活動にかかわっていた際にこの活動を紹介し、仲間(当時私たちは、当事者の方を「仲間」もしくは「先輩」と言っていました。大阪では「おっちゃん」と親しみを込めて呼んでいるようです)たちにやってみないかと誘いました。それで名古屋でも 2006 年に「ビッグイシュー」を立ち上げることとなり、今も続いているそうです。

昨年から続くコロナ禍によって、今もなお多くの人びとが生活に困難を抱えています。マスコミでは連日のように現金支援等が報道されていますが、何よりも社会に参加できる機会や自由を保障する手立てが、いっそう求められる時ではないかと考えています。

障がい者委員会より

誰も置き去りにしない社会に向けて

― 情報伝達の視点から ―

障がい者委員会　嶽崎（たけざき）　裕子

新型コロナウイルス感染症の出現によって、情報の伝達方法が大きく変化しています。

教会コミュニティーのなかでも、ミサ・会議のあり方・講演会の開催方法・聖書勉強会等、オンラインを使うことが多くなってきました。というより対面形式が少なくなってきています。

今まで、講演会、勉強会等に参加していた年齢層は、中高年が中心で若年層（40 歳代以下）は、非常に少なかったと思います。働き盛りの年代、大学生たちは、ほとんど参加がありませんでした。

オンラインによる講演会等になると、中高年層はついていけない状況が見て取れます。一方で、若い世代にとっては、オンラインによるものは、参加しやすい形となってきています。オンラインによる宣教は、若い世代を置き去りにしない、良い手段であると期待できます。

さて、置き去りになっている高齢層や、手段を持たない人たちをどのようにしたら、いいのでしょうか。オンラインによる講演会等は続くでしょう。参加したくてもできない方々のための一つの方法は、小教区に何台かの、タブレット等を設置し、講演会・勉強会に参加したい人は小教区で講演会に参加してもらう。使い方等は、熟知している人がそれを助ける。そんな方法も、あるのではないかと考えます。小教区の設備投資がいると思いますが、中古等で安く手に入るかもしれません。小教区にとっても活性化、聖職者省の「福音宣教に奉仕する小教区となれ」指令の一翼を担うかもしれません。

情報を発信する、講演会等を主催する立場の方々は、「誰も置き去りにしない」内容にするための努力をしていただきたいと願います。

たとえば、聴覚障害者のために、オンライン画面上に字幕をつける。これは「キャプションライン」（captiOnline）、「UD トーク」（いずれも無料ダウンロード）というソフトで、つけることができます。

まだまだ方法はあると思います。みんなで、知恵を集めて、コロナ後の世界で「誰も置き去りにしない」ことの実行行動ができたらと思います。第６波が予想されています。そのためにも今は、準備時期です。

大切なことは、面倒くさい、仕事が増えたと思うのか、イエスが大切にされた人びととつながる喜びを共有するのかではないでしょうか。

コロナウイルスの終息を祈りながら、努力を続けたいものです。

助けてください　その後

◇ アリさん一家 ◇

在アフガニスタンイラン大使館からアリさんと二人の息子に90日間のイラン滞在ビザが発給されました!!
現在空路でイランへ入る準備をしています!!

アリさんからはイラン経由でニュージーランドへ行ける可能性があるかも知れないとの連絡が入りました。

シナピスではアリさん一家がイラン経由でニュージーランドへ行ける道を探り始めました！

◇ R さん一家 ◇

現在パキスタンに滞在中の R さん一家の滞在ビザが 12 月初めにも切れてしまいます。

親タリバン国のパキスタンで、R さん一家が入国管理局へ出向いて滞在ビザの延長申請をするのは容易ではありません。

そんな中、オミクロン株の水際対策で日本がすべての外国人の入国を禁止してしまいました。日本滞在ビザが発給されても 12 月初めまでに日本に入国するのが難しくなりました。

祈りの集い

第2回シナピス主催アフガニスタンのための祈りの集いを11月11日(木)に行いました。
今回も 40 名以上の方に参加頂き、共に祈りを奉げることが出来ました。

今回の祈りの集いは「死者の月」をテーマに、内戦や紛争で亡くなった方とご遺族の為に祈りを捧げました。 過去 20 年間にシナピスと関りがあったアフガニスタン人のご家族のなかで、犠牲になった方々のエピソードと共に、故人の名前を読み上げ、一人ひとりの方のためにお祈りしました。以前正義と平和全国集会主催の祈りの集いで酒井司教が説教で私たちに問いかけた「ただ〇〇人のために祈るのではなく、〇〇人の〇〇さんと名前を呼んでその人のために祈っていますか」という言葉を思い出し、漠然とアフガニスタン人のために祈るのではなく、犠牲者一人ひとりのために祈りを捧げました。

また、ニュースでもその後をお伝えしている、アリさんから送られてきたアフガニスタンの今を伝えるボイスメッセージを紹介して現状を分かち合いました。

生の声、故人の名前を聞くことによって、遠い異国での出来事がぐっと身近に感じられて祈りに力が入りました。参加者の方からは「涙が出ました。私たちは何もできないのではなく、祈ることができる。これからも一生懸命祈ります」という心のこもったメッセージを頂きました。

これからもシナピスでは引き続きアフガニスタンの為に祈っていきます
次回は12月9日(木)20時半からです。
アフガニスタンの方々が希望を見失わないよう一緒に祈りを捧げませんか。

開催方法：Zoom（100 名まで参加可能です）
下記 ID＆パスコード、QR コードからご参加ください。▶▶▶
ミーティング ID：220 415 3804　　パスコード: 562810

シナピスホームだより

山田直保子

シナピスカフェは 2021 年 12 月 2 日で一周年を迎えました。これもひとえに近隣住民の皆さま方が温かく見守って下さり、難民移住者を支援して下さる皆さまのおかげです。本当にありがとうございます。

思い返せば、あっという間の一年でした。最初の想定からは程遠い本当に色々な事があった一年でした。

一つは新型コロナウイルスの猛威。「おとしより食堂」は密になる状況や衛生面、お客様が高齢者であること、感染拡大の様々な角度から見ても開催が厳しい状況でした。

私たちはミーティングを重ね「シナピスカフェ」と称してドリンクの提供のみを行うカフェという答えにたどり着き、もちろん政府が緊急事態宣言を出している間はお休みしましたが、感染対策、衛生面にも気をつけて開催しました。

このコロナ禍での開催には、不安が常につきまとい、お客様が全く来られない日もたくさんありました。近所の方にお会いして、声かけると「コロナが怖いから」と言われたこともあります。でも「収まったら行くから頑張りや」と言ってくださったり、買い物へ行く道中に顔見知りのご近所さんにお会いすると「あ、今日水曜日か」と覚えていて下さる方がいたり、「カフェはしていますか？」と問い合わせを頂いたりと、皆様の温かさに支えられ、ここまでやってこれたような気がします。報道番組「キャスト」でも初日の様子を放送して頂き、とても感謝しています。

もう一つは私自身の病気です。ホームを開催して一か月後から原因不明の高熱で調子が悪くなり、その一か月後には緊急入院、「ギランバレー症候群」と診断されました。この事は誰もが想定外の事で、神様が与えた大きな試練でした。手足に力が入らなくなり、何一つ一人で出来なくなるという、なかなか受け入れ難い症状に苦しみ、ホームの事が心配でも、一人で何もできない状況でした。

一年間私が一つ一つの動作をどう克服していったか、どう乗り越えていったかは割愛しますが、私が病気になった事は運の悪い事＝神の試練と考えていた私にとって、ホームがあったことにより、その考えは払拭されました。

一緒にホームを続けていく為に一つ一つ具体的に考えてくれたシナピススタッフ。私の手足となりホームで働けるように助けてくれる難民移住者さん達。

皆さんに支えられ見守ってもらいながら少しずつですが出来ることが増えていっている毎日です。

難民移住者の皆さんもこの一年で大きく変わりました。初めは言われたことを一生懸命してくれるという感じでしたが、ホームでカフェをしていく内にたくさんのアイディアを出したり、自分はこうしたらいいと思うと相談に来てくれたり、私が病気になった事により、「ホームを自分たちが守るんだ！」という感覚に変わっていったような気がしています。

食堂でお出しするために試食会も行ってきました。国も文化も違う人たちが同じ空間で料理をするのですから、日本の常識は通じません。トラブルになった事もたくさんありますし、皆が心を痛めたり怒ったりストレスフルになり爆発することが何度もありました。その都度時間をかけて話をして分かち合ってきました。家庭菜園でも、花を育てたことのない男性に、「お水をあげてね」という一言にお湯をあげるといったような細かいトラブルは毎日山ほどありますが、難しい日本語がよくわからない彼らなりに何をするにも一生懸命で、その姿を見て感動することが多々あるのがホームでの日常です。喧嘩してお互いの腹の内を吐き出し、仲直りしてお互いを思いやる。人間てこういうもんだよねといつも私が癒されています。

難民移住者には私が想像もできない状況を生きてこられた背景があり、入管に収容され、仮放免で出てきても就労不可という決まりがあり、毎月の出頭命令があり、今でも安心した生活を送れるわけではありません。入管に出頭する前日には「再収容されるかもしれない」という恐怖から頭痛や顔色も悪く食欲もなくなり笑顔もなくなる難民さんもいます。

そんな中でも、「楽しかった！」「なんか落ち着く」「美味しいスイーツをありがとう」とお客様に直接言われ、嬉しそうに恥ずかしそうに笑っている皆さんを見ていると、涙が出てくるくらい私まで嬉しくなり、お客様が帰られた後は、今度はこんなものをお出ししたいと意見が飛び交い、家庭菜園の出来栄えを見て一喜一憂したり、自分たちが菜園の野菜でメニューを考えたりしているのを見ると本当に嬉しいです。

「必要とされる喜び」は、人間がどんな状況にあっても乗り越えていける必要な大事な事です。国からいらないと言われた彼らには、この「必要とされる喜び」をたくさん味わって生きる希望にしてほしいのです。神様は人生が全てうまくいくように作られていないと思いますが、何かがあった時に、何かを糧に頑張れるように人生の中で少し立ち止まる時期が誰しも作られているような気がします。

状況は苦しくても辛くても前を向いて生きていくための一つにホームがなりますようにと願いを込めて。

難民移住者の、「お客様に美味しいと言ってもらいたい、頑張ろう！」という熱い想いをのせて、「誰かの居場所」となれるよう２年目のホームも頑張っていきます。
来年もどうぞよろしくお願い致します。

教えてください～！！第20弾！

「エコロジカルな回心」とは？

次世代に伝える難しさ

環境破壊、紛争、貧困、子どもやジェンダーをめぐる課題、何となく私たちの生活や社会の仕組みを変えなくてはいけない、ということはわかってきました。でも、それを次世代にどう伝えるかというところが大きな課題です。目標と私たち、そして次世代を結ぶ方法、その一例として、「エコロジカルな回心」の内容と重なることが多い国連「持続可能な開発目標（SDGs）」にかんする二つの大阪の企業の取り組みを紹介します。

「笑い」を通じて：吉本興業

例えば・・・

SDGs-1 グランプリ
SDGs の目標やテーマをコントや漫才でわかりやすく説明。

SDGs×島全部でおーきな祭
2017 年から沖縄発信で SDGs を紹介。17 の目標を独自の視点で解釈したメッセージを使ったスタンプラリーなどを実施。

大阪が誇る笑いの殿堂、吉本興業は国連の依頼を受け、2017 年より SDGs の 17 の目標を「笑い」を通して広める事業を展開しています。そこには、難民支援にかかわったことのある国連広報センター担当者の「笑いの力は人々の間にある壁を越えられる」との実感と、吉本興業社長の「自分たちにできることは（SDGs の）垣根を下げること」という判断があったそうです。

「みんなで減らそうしジ袋」キャンペーン
西川きよしさんがアンバサダーとなって活動。
動画「空飛ぶごみ袋」を配信。

国連 WFP（世界食糧計画）協会「ゼロハンガーチャレンジ～食品ロス×飢餓ゼロ～」キャンペーンとのコラボ
女性芸人「３時のヒロイン」が食品ロスの削減を動画で配信。

吉本興業 HP、朝日デジタル 2017.4.27 記事より

「スポーツ」を通じて：F.C.大阪

F.C.大阪は東大阪を拠点とするサッカーのクラブチームです。クラブ活動を通して地域社会に貢献することを目標としており、SDGs で定められた 17 の目標・169 のターゲットの社会課題を、スポーツ・サッカーを通じて解決していくことをクラブミッションに掲げています。

F.C.大阪 HP より

例えば・・・

F.C.子ども基金の設立
チャリティーゲームやグッズの売り上げの一部を子どもの貧困対策に活用。

「誰も取り残さない社会づくり」パートナー企業との取り組み
障がい者福祉施設とコラボし、仕事づくりを支援。多様な人材が安心して働き活躍できる職場環境づくりを支援。

私たちは・・・

「エコロジカルな回心」と私たちをつなぐもの、それはやはり信仰です。でも、環境や人権にかかわる問題のつながりをどのように伝えるか、というところにはまだ工夫できることが沢山あるように思います。
みなさんの取り組みやいいアイディアがあったら、ぜひ教えてください。

今回の正平協大阪大会特別プログラム「Youth Forum」では、カトリック学校の中高生が、SDGs について「RD(世界希少・難病性疾患)について」、「コロナ禍から見えてきたもの」、「人種差別」、「Inclusive Quality Education for ALL」、「アフガニスタンと新疆ウイグル自治区」、「多文化共生の実現に向けて」というテーマで発表しました。アプローチの方法は多種多様。若い世代はすでに動き始めていて頼もしいです！

みなさんがご存じのことを教えてください

たとえばこんなこと

1. 環境のためにしていること、昔から言い伝えられている知恵

2. 「エコロジカルな回心」を次世代に伝える方法やアイディア

☆お名前またはニックネーム ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

☆連絡先（メールアドレスや電話番号など）

☆投稿方法　　FAX：06-6920-2203　／　メール：sinapis@osaka.catholic.jp

QR コード＊

＊QR コードの読み込みには、スマートフォンなどで QR コードリーダーをダウンロードすることが必要です。

美ら海守れ！沖縄県民の民意を守れ！

沖縄県の「不承認」を支持する　辺野古ブルーアクションが行われました。

「不承認」を支持する意思表示を続けましょう！！

昨年４月、政府・沖縄防衛局は、大浦湾側で見つかった軟弱地番の改良工事等のため大幅な「設計変更申請」を沖縄県に行いました。
「変更申請」を行いながら、またコロナ禍の続く中でも、工事は中止されることなく土砂投入が強行されてきました。
　11 月 25 日、玉城デニー知事は、軟弱地盤の調査が不十分であることや、ジュゴンやサンゴなどの環境保全対策が行われていないことなどを理由に、「設計変更申請」を「不承認」とする発表を行いました。辺野古新基地をめぐる攻防は、重大な局面を迎えることになります。
　玉城知事の「不承認」を支持し、政府に辺野古新基地の断念を迫るために、沖縄県の「不承認」を支持する辺野古ブルーアクションへの参加と拡散を呼びかけます。

11 月 25 日（木）～12 月 3 日（金）のアクションは終了ですが、引き続き、美ら海を守り、沖縄県民の民意を守るために、それぞれできることを続けてまいりましょう！
　詳しくは、オール沖縄会議ホームページをご覧ください。　https://all-okinawa.jp/

＜今後、以下の取り組みも検討＞

【政府が対抗措置を取った場合】
「総がかり行動実行委員会」とともに、
裁判等支援の署名運動などを検討します。

【沖縄県民大会などが行われる場合】
「総がかり行動実行委員会」と共催で、
国会包囲行動など沖縄に呼応した大集会を検討します。

【呼びかけ】
「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会　https://humanchain.tobiiro.jp/
沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 090-3910-4140　**沖縄意見広告運動** 03-6382-6537
ピースボート 03-3363-7561

アフガニスタンへ募金を届けよう！

「イラクの子どもを救う会」代表のフリージャーナリストの西谷文和さんは、「9.11」以降アフガニスタンをジャーナリストの立場から支援しています。取材にいけない今も現地通訳を通じて私たちに現状を発信し続けています。
「イラクの子どもを救う会」では物資や募金を現地通訳の方を介してアフガニスタンに届けています。

振込先：
ゆうちょ銀行　00970-5-222501　イラクの子どもを救う会
三井住友銀行　吹田支店　普通　3712329　イラクの子どもを救う会　西谷文和

アフガニスタンの人びとのいのちを助けてください

ハガキと FAX で声を届けましょう！！

アフガニスタン市民の命が危険にさらされていることに大変心を痛めています。現地からは助けを求める声が続々と入ってきています。また、この日本で暮らすアフガニスタンの人びとからも、「家族を、友人を助けてください」と悲痛な叫びが聞こえてきます。
わたしたちは積極的な人道支援をするよう日本政府に強く求めます。

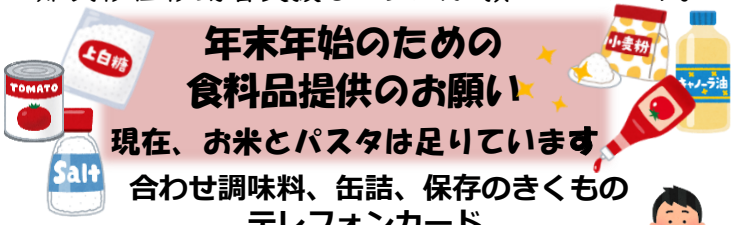
お詫び：法務省の FAX 番号に間違いがありました。
訂正（誤）03-5592-7393 →（正）03-359-7393

活動へのご支援ご協力
よろしくお願いいたします。

郵便振替　00960-7-61419

加入者名　カトリック大阪大司教区シナピス

難民移住移動者支援もよろしくお願いいたします。



年末年始のための食料品提供のお願い

現在、お米とパスタは足りています

合わせ調味料、缶詰、保存のきくもの
テレフォンカード
男性用（３L～）防寒下着(新品)など

お電話をお待ちしています！！

☎06-6942-1784

HP がリニューアルしました！▶

https://sinapis.osaka.catholic.jp/

あとがき

正義と平和全国集会大阪大会が終わりました。
事務所では、「終わった」というやり切った余韻に浸る間なく、今日もシナピスを訪れる方々の相談、次なる野望（展望）に向けて、12 月（師走）もその名の通り、走っております。この一年も色々なことがありました。コロナが私たちに何を問いかけているのか。様々な角度から考え見つめる一年でした。
先日、ある神父さまがミサの最後の派遣のことば「『行きましょう。主の平和のうちに』の原語は『行け』なんだよ。教会を出て、『さあ、今日聞いたみことばを実現するために行け！』と神さまはおっしゃっている」と話してくださいました。救いを求めて叫ぶ人の声が聞こえます。「待ちこがれている」救い主は、すでにその人たちとともにいて、門の外に立ち、もしかすると私たちが立ち上がり扉を開けに来るのをじっと「待って」おられるのかもしれません。「行け」といわれたら、たとえ火の中水の中、躊躇したり、足がすくんだりしながらも、「バカなことをいうな」といわれても、扉を開けに、一歩、また一歩。（H）

▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

◆広報活動
・教皇メッセージ、司教団メッセージ等社会活動の指針の伝達
・読者と教会内外の社会活動をつなぐ機関誌としてシナピスニュースを発行

◆大阪教区・社会活動委員会との連携

◆学習会研修会の企画

◆こども基金
世界・日本のこどもたちへの援助

◆カトリック中央協議会との連携
正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

◆人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

◆難民移住移動者支援
難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

難民移住移動者 相談ダイヤル
☎ 06-6941-4999

アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22
カトリック大阪大司教区事務局内

公共交通機関ご利用の場合
JR 森ノ宮駅より　約 1000m
地下鉄中央線森ノ宮２番出口より　約 800m
JR 玉造駅より　約 1000m
地下鉄鶴見線地線玉造１番出口より　約 800m
車でお越しの場合
阪神高速１３号東大阪線法円坂出口
法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがいします
郵便振替　00960-7-61419
加入者名　カトリック大阪大司教区シナピス

忘れない あきらめないカレンダー

どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。

2021 年　12 月　の 案 内

★印　カトリック関係

2021 年　祈祷の信徒　祈りの意向

●福音宣教の意向：　カテキスタ
神のことばを告げ知らせるために召し出しを受けたカテキスタのために祈りましょう。
勇気と創造力を持ち、聖霊に支えられ、証し人となることができますように。
●日本の教会の意向：　クリスマスの喜びと祝福
闇に住む人々、社会の周縁に追いやられた人々に、お生まれになった幼子イエスの恵みと祝福が豊かにありますように。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止される場合があります。事前に各主催者へお問い合わせください。

6	月	●戦争あかん! ロックアクション 御堂筋デモ 集会開始：18時30分～　デモ出発：19時10分～　場所：新町北公園 主催：戦争あかん!ロックアクション有志 Facebookグループ「戦争あかん!街かどプロジェクト」 Facebookページ「戦争法・秘密法廃止!集会・デモ情報」
7	火	
8	水	
9	木	**ジェノサイド犠牲者の尊厳を想起しその犯罪防止を考える国際デー** ●神戸・南京をむすぶ会 12月集会／ビデオ上映＆講演のタベ 18時30分～20時30分　会場：神戸学生青年センター「ウエスト100」　参加費：1000円 ビデオ上映：「南京・煤炭港の虐殺―生還者の証言・元日本兵の証言―」(60分) 講演：「煤炭港虐殺事件と長江沿岸の今」宮内陽子さん(神戸・南京をむすぶ会代表) 主催：神戸・南京をむすぶ会　　連絡先：☎078-891-3018(神戸学生青年センター)
10	金	**人権デー** ★死刑執行停止を求める諸宗教による祈りの集い2021　18:30～20:00　ライブ配信　視聴用URL：　https://tinyurl.com/m9yzn885 死刑執行された人とその家族、被害者とその遺族、執行を待つ死刑囚、冤罪と闘う死刑囚、執行に当たる刑務官など、死刑に関わるすべての人の思いをはせて、祈りをささげる「諸宗教の祈りの集い」を開いています。宗教を持つ方も、持たない方も、是非ご参加いただき、死刑について静かに考えるひとときを、ご一緒に過ごしませんか。 ・各宗派、団体からのメッセージと祈り(仏教・神道・キリスト教・市民団体・など) ・八雲琴による鎮魂演奏　・献灯 連絡先：「死刑を止めよう」宗教者ネットワーク　☎:090-4571-5510(阪本)
11	土	●12.11「東京裁判と南京」　14:00開演(13:30開場)～16:30 ■場所：エルおおさか・南館5Fホール　講演とトーク：『揚子江で処理した10万の死体―太田寿男口述書から』 講師：銘心会南京／日中平和研究会　代表　松岡環さん ドキュメンタリー映像：『東京裁判と南京―大きな溝を乗り越える』(2015年・上海外語チャンネル制作)50分 資料代：1000円(学生500円)　主催：南京の記憶をつなぐ2021　連絡先：☎090-8125-1757 ●同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ「日本の歴史と『朝鮮』の境界」 第七回; 百節不屈―こどもたちの未来のために 講師：高己蓮さん (民族講師)(仮) ■場所：YouTube上にて公開　参加費：無料(どなたでもご参加できます)事前予約要　主催：同志社大学 KOREA 文化研究会 連絡先：doshisha_koribun@yahoo.co.jp　オンライン参加申込：◆視聴申請 URL ： https://forms.gle/DqKQPMeZgrTRLDBx5 ※ 動画はセキュリティの関係上「限定公開」となりますので、受講を希望される方は連絡先に、配信前日の金曜日 までにご連絡ください。 参加費・資格：無料、一切なし (どなたでも参加いただけます) ●冤罪・布川事件 国家賠償請求裁判 勝利報告会　14:30～ ■神戸市勤労会館多目的ホール　講演・うた：桜井昌司さん　特別アピール：吉田明彦さん 資料代：500円　障がい者・高校生以下・しんどい方無料 主催：狭山事件の再審を実現しよう市民のつどいin関西実行委員会　連絡先：☎090-3624-8270　✉：sayama.kannsai@gmail.com ★小泉純一郎氏講演会―日本の歩むべき道 「一日本人としての思い」　14:00～　YouTube配信　https://youtu.be/U7PbewcHPhs フクシマがすべての原点　3.11東日本大震災における救援活動「トモダチ作戦」従事していた米軍兵士たちが、原発事故によって被曝した。米兵におかれた過酷な現状を知り、支援活動に立ち上がった小泉氏の、一人の日本人としての発言は、私たち一人ひとりに投げかけられた課題でもある。フクシマで生きる手立てと場所を奪われた被災者と米兵たちに思いを致し、過去を乗り越え、次の世代のために、私たちが為すべきことを共に考える。 主催：次世代を考える会(カトリック名古屋教区)　問合せ：052-935-7180(次世代を考える会事務局/畑村)

12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	**国際移住者デー** ●同志社大学日朝関係史講座 総合テーマ「日本の歴史と『朝鮮』の境界」　第八回：在日朝鮮人とハンセン病（仮）未定 ■場所：youtube上にて公開　参加費：無料（どなたでもご参加できます）事前予約要　主催：同志社大学 KOREA 文化研究会 連絡先：doshisha_koribun@yahoo.co.jp　　オンライン参加申込：視聴申請 URL ： https://forms.gle/DqKQPMeZgrTRLDBx5 ※ 動画はセキュリティの関係上「限定公開」となります。受講を希望される方は連絡先に、配信前日の金曜日 までにご連絡ください。 参加費・資格：無料、一切なし（どなたでも参加いただけます） ●教科書全国集会2021　政府見解をすり込む教科書NO！！　　14:00～16:30(13:30開場) ■場所：エルおおさか本館6階大会議室　　オンライン併用（Zoom配信は12/17までに申し込みサイトへ） 講演：高嶋伸欣さん（琉球大学名誉教授）「高校教科書書きかえ強制の本質」他報告 資料代：800円（学生、しょうがい者無料） 主催：「戦争教科書」はいらない!大阪連絡会　ブログ・フェイスブック：「子どもたちに渡すなあぶない教科書」で検索 ●「憲法のつどい」総選挙の結果と私たちの展望（仮）　13:30～16:00(13:00開場) ■場所：西宮市立勤労会館ホール　　講演：石川康宏さん（神戸女学院大学教授） 資料代：500円（学生無料）　主催：「九条の会」西宮ネットワーク　連絡先 ☏：0798-26-0537　fax：0798-39-8300 ●アフガニスタン戦争に日本の責任はないのか!　13:30～16:30 ■場所：PLP会館　　講師：西谷文和さん　　資料代：800円（経済的に厳しい方は受付まで） 主催：参戦と天皇制に反対する連続行動　連絡先：関西単一労働組合　☏/FAX：06-6303-0449
19	日	★飯盛山麓　クリスマス フェスタ　14:00～16:00 ■場所：カトリック大東教会 講演：「天下人・飯森城主　三好長慶公の魅力に迫る」―河内キリシタンの礎―　講師：河村共之さん（大東・三好長慶会会長） DVD大東・三好長慶公武者行列PR動画―元気で活力ある大東市―（制作：大東市2021） クリスマス・ハープ演奏　徳井由美子（ハープ弾き語り）　主催：カトリック大東教会　問合せ：090-6605-3465（高橋）
20	月	**人間の連帯国際デー**
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	●第10回さようなら原発1000人集会　原発のない明日をつくる!　14:00～　開演(13:30開場) ■場所：いたみホール　講演：田中優子さん（法政大学名誉教授）　松下照幸さん（美浜町議会議員） 参加費：当日1,000円、前売800円、障がい者・避難者半額、介助者・35歳以下無料　　親子室あり、手話通訳あり 主催：さようなら原発1000人集会実行委員会　問合せ：090-8578-4494(谷)
4	火	**世界点字デー**
24	月	**教育の国際デー**
27	木	**ホロコースト犠牲者を想起する国際デー**

カトリック大阪大司教区　社会活動センター
シナピス
Social Action Center of Catholic Archdiocese of Osaka

カトリック正義と平和協議会全国集会 大阪大会 2021.11.22~23
“すべてのいのちを守ろう”
～誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind～

地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス（からし種）です。
イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

シナピスの風

＊行事はコロナ感染症の影響で延期または中止になることがあります。
ご参加の際は連絡先にお問い合わせください。

第144号　2021年12月2日発行

12月の祈り

「いのちの日」の祈り

いのちの創り主である神よ
あなたの前では全てのいのちが尊く大切なものです。

儚(はかな)い可愛いいのちを咲かせ、
たくましく豊かないのちへと育んでくださるあなたの愛に
いつも感謝しています。

わたしたちが人知れず流されている涙を知り、
打ちひしがれている人の叫びを聴くことによって
そのいのちの奥にこそあなたがおられることに気づき、
ともに歩むことができますように。

わたしたちが心と手、
悲しみと傷をも捧げることによって思いと行いを、
いのちを育むあなたの愛へと
変容させてくださいますように。

わたしたちの主イエスキリストによって。
アーメン。

シナピスでは、毎月のお祈りをニュースレターとともにお送りしております。教会で、ご家庭で、日々のお祈りにお使いください。
シナピスのホームページからも、ダウンロードしていただけます。

正義と平和協議会全国集会　大阪大会終了

ご参加、ご協力、ありがとうございました！

はじめてのオンライン開催となりましたが、皆さまのご協力のもと、無事に開催することができました。
32の分科会に2日間で全国各地より延べ1,000名をこえる方々にご参加いただくことができました。
心より感謝申し上げます。

大会実行委員会一同

【大阪大会ロゴ】
すべてのいのちを包み込み、
一人ひとりのいのちが
こぼれおちないように
支え守っている手
「いのち」を表すカランコエの花
花言葉＝「あなたを守る」

緊急！ アフガニスタンの人々のいのちを助けて！

日本政府にアフガニスタンの市民を難民として受け入れ、また日本在住の在留資格のないアフガニスタン出身者を本国に帰さないようハガキ、FAX で訴え、そして、ともに祈ってください。

祈りの集いをしています。

日程：毎月第2木曜日　時間：20:30～(30分)
次回：12月9日(木)
開催方法：Zoom（100名まで参加可能です）
下記URL、ID＆パスコード、QRコードからご参加ください。▶▶▶
ミーティングID：220 415 3804
パスコード: 562810

ハガキ、FAX 用紙はシナピスにあります。
9月号シナピスニュース同封の FAX 用紙記載の法務省の FAX 番号に間違いがありました。
お詫びし訂正いたします。訂正（誤）03-5592-7393 →（正）03-3592-7393

飯盛山麓 クリスマスフェスタ

日時:2021年12月19日(日)
14:00～16:00
場所:カトリック大東教会
問合せ:090-6605-3465(高橋)

入場無料

1．講演「天下人・飯森城主　三好長慶公の魅力に迫る」
—河内キリシタンの礎—
河村共之さん（大東・三好長慶会会長）
2．DVD 大東・三好長慶公武者行列 PR 動画
—元気で活力ある大東市—（制作：大東市 2021）
3．クリスマス・ハープ演奏　徳井由美子（ハープ弾き語り）

シナピス事務局の年末年始の休日　12月25日(土)～2022年1月5日(水)

食糧支援のお願い

コロナ禍で解雇された技能実習生、帰国できずに困っている留学生や短期滞在者が増えています。日持ちのする食品、ハラル食品などのご支援をお願いします。

シナピスホームページリニューアル！！

お待たせしました。シナピス HP がリニューアルしました。
https://sinapis.osaka.catholic.jp

継続中！

混乱が続くミャンマーの人々のいのちを守る働きかけもしています。
ハガキが必要な方はシナピスまで。

カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナピス
Tel 06-6942-1784　Fax 06-6920-2203
URL: https://sinapis.osaka.catholic.jp/

「点訳版」「音訳」
ご希望の方はシナピスまで
お申込み下さい。